

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年6月19日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

計算論的神経科学

正誤対象

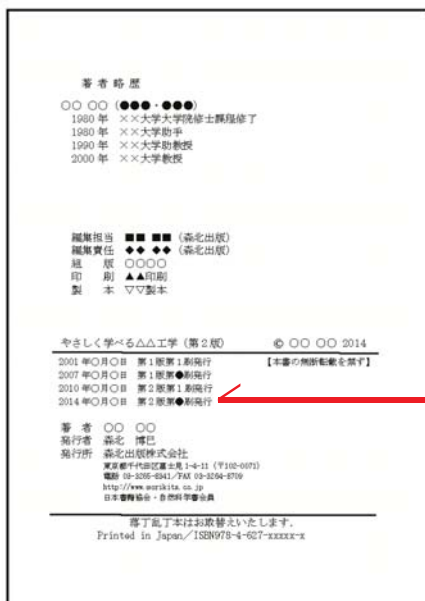
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

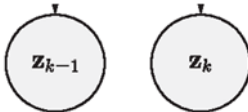
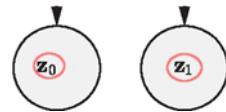
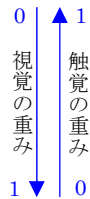
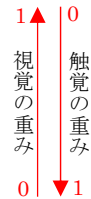
お持ちの本の刷数				
1	対応刷数	1	より	3 までをご参照ください
2	対応刷数	2	より	3 までをご参照ください
3	対応刷数	3	を	ご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません			

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
3	21	11 行目	$+ (I_2 + m_2 r_2^2 + m_2 l_1^2 + m_2 l_1 r_2 \cos \theta_2) \ddot{\theta}_2 \dots$	$+ (I_2 + m_2 r_2^2 + m_2 l_1 r_2 \cos \theta_2) \ddot{\theta}_2 \dots$
3	21	式 (1.7)	(右辺の 1 行目) $\dots I_2 + m_2 r_2^2 + m_2 l_1^2$	$\dots I_2 + m_2 r_2^2$
2	29	式(1.23)	$\dots = w(\varphi_0 + \theta_0 + \phi_0)$	$\dots = w(\varphi_0 - \theta_0 - \phi_0)$
2	30	式(1.24)	$\dots w(\varphi_0 - \theta - \phi + \theta'_0 + \phi'_0) \dots$	$\dots w(\varphi_0 - \theta - \phi - \theta'_0 - \phi'_0) \dots$
1	64	図 3.2		
1	75	下から 4 行目	\dots (Rabe et al., 2019)	\dots (Rabe et al., 2009)
3	77~78	最下行~ 1 行目	\dots (Jones & Smith, 2009).	\dots (Joiner & Smith, 2008).
3	87	19 行目の次の行	(19 行目の次に右を挿入)	Joiner, W. M., & Smith, M. A. (2008). Long-term retention explained by a model of short-term learning in the adaptive control of reaching. <i>Journal of Neurophysiology</i> , 100(5), 2948-2955.
3	96	図 4.3 A	(図左側) 	
1	109	式(4.51)	$(\mathbf{A} + \mathbf{BCD})^{-1} = \mathbf{A}^{-1} - \mathbf{A}^{-1} \mathbf{B} (\mathbf{C}^{-1} + \mathbf{D} \mathbf{A}^{-1} \mathbf{B}) \mathbf{D} \mathbf{A}^{-1}$	$(\mathbf{A} + \mathbf{BCD})^{-1} = \mathbf{A}^{-1} - \mathbf{A}^{-1} \mathbf{B} (\mathbf{C}^{-1} + \mathbf{D} \mathbf{A}^{-1} \mathbf{B})^{-1} \mathbf{D} \mathbf{A}^{-1}$
2	178	下から 12 行目	$\dots \log p(\mathbf{Z} \mathbf{X}, \boldsymbol{\theta}) \dots$	$\dots \log p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \boldsymbol{\theta}) \dots$
2	178	式(7.6)	$\dots - \sum_{\mathbf{X}} p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \boldsymbol{\theta}') \log p(\mathbf{Z} \mathbf{X}, \boldsymbol{\theta})$	$\dots - \sum_{\mathbf{X}} p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \boldsymbol{\theta}') \log p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \boldsymbol{\theta})$

2	178	式(7.7)	$\dots + \sum_{\mathbf{X}} p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \theta') \log \frac{p(\mathbf{Z} \mathbf{X}, \theta')}{p(\mathbf{Z} \mathbf{X}, \theta)}$	$\dots + \sum_{\mathbf{X}} p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \theta') \log \frac{p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \theta')}{p(\mathbf{X} \mathbf{Z}, \theta)}$
2	245	21 行目	… (Jörntell&Ekerot,2002). このように…	… (Jörntell&Ekerot,2002). また、平行繊維→プルキンエ細胞のシナプス強度が長期抑圧だけでなく長期増強も示すことが、桜井により示されている (Sakurai,1987). このように…
2	252	図 10.7(B)	上 2 段のグラフを右に変更	<p>B 苔状線維 + プルキンエ細胞 → 小脳核細胞</p> <p>— 実験データ — 線形モデル</p>
1	254	図 10.8A 下段		
2	254	図 10.8 キャプション	…の場合. Tanaka et al. (2019) より.	…の場合. <u>A</u> は Tanaka et al. (2019) より, <u>B</u> は未発表データ.